

弘前大学学報



弘高生青春の像

第 106 号
平成25年 1月号

学内ニュース

○平成25年 年頭の挨拶	-----	1
○第12回「弘前商工会議所街づくり大賞」を受賞	-----	2
○平成25年度大学入試センター試験実施	-----	3
○弘前警察署から感謝状が贈られました	-----	4
○プロテオグリカンフォーラム冬2012を開催	-----	5
○平成24年度岩谷元彰弘前大学育英基金採用者授与式を挙	-----	6
○平成24年度文部科学省		
「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」		
弘前大学シンポジウム「産業界のニーズと課題解決型学習の実践」開催	-----	7

諸 会 議

-----	8
-------	---

人 事

○新任教授紹介	-----	10
○人事異動	-----	10

主要日誌

-----	11
-------	----

学内規則等の制定等

-----	12
-------	----

平成25年 年頭の挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族共々、良い年を迎えられたことと思います。

平成25年の新年にあたって、三つのことを申し上げたいと思います。

一つ目は、年末年始の行事についてですが、今回は年末の挨拶を取り止め、新年の挨拶1回のみということにさせていただきました。これにはいろいろな面があると思いますが、皆さんが年末年始をゆっくり過ごされてはどうかということが最も大きな要因です。しかし、申し上げたいことは、間違いなく私自身は皆さんと顔を合わせ、お話をする機会を大切に思っているということです。今回の変更はそのような機会を少なくするためのものではないことを、是非ご理解ください。

二つ目として、今年の総括です。私は、昨年2月から学長に就任させていただきましたが、この11ヶ月間は、遠藤正彦前学長時代からの継続的な課題に取り組んできたというのが実態だと言ってよいと思います。遠藤前学長のご尽力と、皆さんのご協力により、それらの目標は達成できたと自己評価していますが、まだ足りない部分があるかもしれません。これらについては、引き続き皆さんのご協力をいただきながら、更に前進していきたいと思っております。

三つ目として、新しい年には、これまでの継続的課題だけでなく、新たな取組が求められているということです。ご承知のように、大学改革プランに沿った本学の中期的な未来像を定めることが、今年の最大の眼目であり、その意味で、今年は本学にとって正念場の年であるという覚悟を皆さんと共有したいと思います。

創立から65年になんなんとする弘前大学の今後の在り方を根本的に左右する作業に関わることを、皆さんに自覚していただき、大学全体の視点を持って臨んでいただくようお願いしたいと思います。教職員一人ひとりが、自らの視点を離れ、組織全体としての利益を考えることが、大学の発展を導き、ひいては個々の利益につながることをご理解いただきたいと思います。さらに申し上げれば、地域の視点、日本全体の視点、そしてグローバルな視点が必要ですが、さまざまな取組のそれぞれの場面においては、そのようなことも求められると思います。まずは、当面の目標として、大学全体の視点に立って、今後の弘前大学の改革を進めて行くことが必要です。

繰り返し申し上げますが、平成25年は弘前大学にとって決定的な年になるかとの思いを胸に、本学の在り方を考え発展を期して行くことを、皆さんと共に年頭の決意とさせていただきたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

平成25年 1月 7日
弘前大学長 佐藤 敬

第12回「弘前商工会議所街づくり大賞」を受賞

本学は、第12回「弘前商工会議所街づくり大賞」を受賞し、1月4日（金）弘前商工会議所新春祝賀会で行われた表彰式において、地域産業振興部門で表彰されました。

弘前商工会議所街づくり大賞は、弘前市で地域振興や元気のある街づくりに寄与した個人や団体を表彰するものであり、商工農業をはじめ、各界において地道な活動で地域の振興発展に寄与する等、元気ある街づくりに功績のある方々を表彰し、その不断の努力を称えるために制定され、今年で第12回目になります。

表彰式当日は、弘前商工会議所の永澤会頭から、加藤理事（研究担当）・副学長に、記念の盾が贈呈されました。

弘前大学では、地方独立行政法人青森県産業技術センター等との連携により、これまで主に廃棄処分されていたサケの鼻軟骨から、高純度のプロテオグリカン（保湿性及び抗炎症作用等の多彩な機能を持つ糖たんぱく質の一種）を低コストで精製する技術が開発され、研究が継続されてきました。これにより、食品・化粧品・医療関係品等の多様な分野において、未利用水産物を有効活用した製品開発を行うことのできる展望が開かれた。地域に眠る資源を活かした新産業と雇用の創出により、地域経済活性化を可能にするモデルケースとして高く評価されるとともに、今後大きなビジネスチャンスとして成長することが期待できるなど、地場産業の振興に大きく寄与しているとして、「未利用水産資源から抽出したプロテオグリカン（PG）を利用した新産業の創出」で街づくり大賞に輝きました。受賞にあたり、加藤理事から「弘前大学の長年の取り組みを評価していただき誠にありがとうございました。これからも産学官連携により地場産業の振興に貢献できる研究に努めて参りたいと思います。」と感謝の意及び今後の決意が述べられました。



表彰される加藤理事



永澤会頭（左）と受賞者

平成25年度大学入試センター試験実施

平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月19日（土）、20日（日）の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森大学田名部高等学校会場、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医学部の9試験場で実施されました。

この後、本学の個別学力検査は、前期日程試験が2月25日（月）、26日（火）（合格発表は3月6日（水））、後期日程試験が3月12日（火）（合格発表は3月20日（水・祝））に実施されます。

なお、本学が担当した大学入試センター試験の志願者及び受験者は、次のとおりです。

◇平成25年度学入試センター試験 教科別受験状況

弘前大学試験場	担当学部：人文学部，教育学部	志願者数：1,549人
---------	----------------	-------------

1月19日 (土)	科 目	地理歴史・ 公民	国語	外国語 (筆記)	英語 (リスニング)
	欠席した者の人数	156	89	78	85
	受験した者の人数	1,393	1,460	1,471	1,464
	受 験 率 (%)	89.9	94.3	95.0	94.5

1月20日 (日)	科 目	理科	数学①	数学②
	欠席した者の人数	201	131	245
	受験した者の人数	1,348	1,418	1,304
	受 験 率 (%)	87.0	91.5	84.2

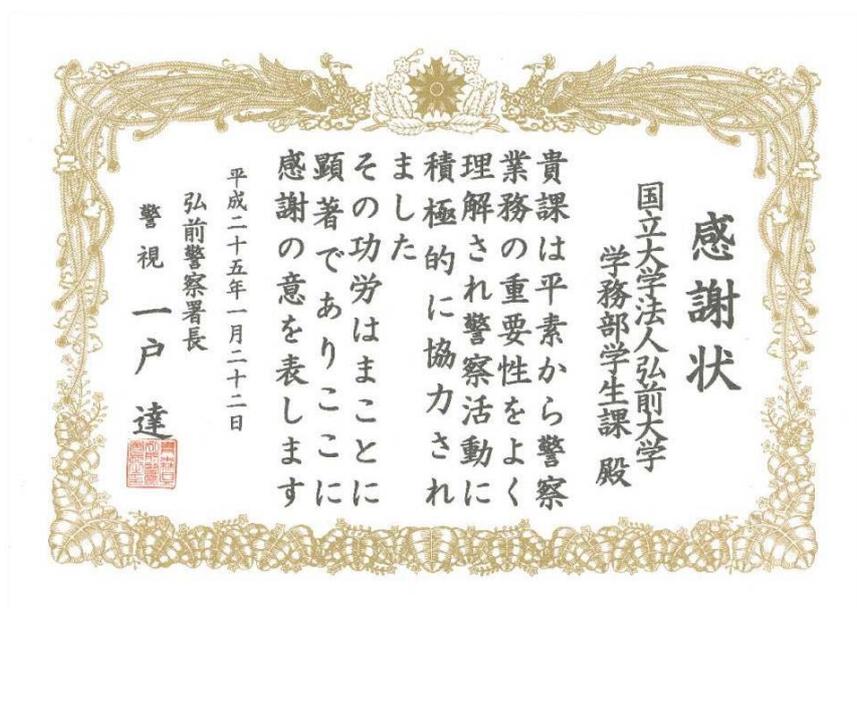
弘前警察署から感謝状が贈られました

1月22日（火）、弘前パークホテルにおいて警察協力功労者及び優良警察職員表彰式が開催されました。

学務部学生課も自転車の盗難防止と二重ロックの広報活動に協力した団体として、協力功労者の感謝状を贈呈されました。



中根理事（中央）と学務部学生課の職員



プロテオグリカンフォーラム冬2012を開催

本学は、1月25日（金）弘前市内のホテルにおいて、「プロテオグリカンフォーラム冬2012」を地方独立行政法人青森県産業技術センター、弘前市、青森県とともに開催しました。

本フォーラムは、弘前大学の研究シーズを基に展開してきた、地域イノベーション戦略支援プログラム「プロテオグリカンをコアとした津軽ヘルス&ビューティー産業クラスターの創生」事業が最終年度となり、ひとつの区切りを迎えるにあたり、さらなる発展を目指して中核機関である青森県産業技術センターとともに開催したものであります。化粧品・健康食品業界などの専門家による講演、新商品の紹介などが行われ、3年間の事業と研究成果の報告も行われました。

当日は（地独）青森県産業技術センター理事長（事業総括）、青森県知事、弘前市長、弘前大学長の主催者挨拶と、来賓として文部科学省 科学技術・学術政策局 田中正朗次長からイノベーションへ向けた取り組みを期待したいとの挨拶があり、株式会社コーサー 開発研究室長 林 昭伸氏をはじめとする、3名の識者による基調講演、特別講演が行われました。

フォーラムの最後には、東京大学名誉教授、一般社団法人俯瞰工学研究所代表理事の松島克守氏を座長に、佐藤敬学長、三村申吾青森県知事、葛西憲之弘前市長と本事業の参画企業をはじめ本日の講演者ら全12名によるパネルディスカッションが行われ、地域での取り組みや課題、今後のさらなる展開の可能性に関して、活発な意見交換が行われました。約300名の参加者は、プロテオグリカンについて一層の理解を深めるとともに、今後のプロテオグリカンの可能性について想いを馳せていました。

*プロテオグリカン タンパク質と糖鎖（グリコサミノグリカン）が共有結合した複合糖質の一種



科学技術・学術政策局の田中次長挨拶



今後の展開について議論されたパネルディスカッション



佐藤学長による主催者挨拶

平成24年度岩谷元彰弘前大学育英基金採用者授与式を実施

本学では平成23年度に岩谷元彰弘前大学育英基金を設立し、成績優秀で経済的に就学困難な学生に対し、奨学金として一人20万円、留学費用として一人5万円を給付しています。本育英基金は本学の前身である官立弘前高等学校の卒業生で、弁護士として長年活躍されている岩谷元彰氏からご厚志を受け設立されたもので、今年度はあわせて14名の学生が採用され、1月28日（月）に弘前大学事務局3階大会議室で採用者授与式を行いました。

授与式では出席者への採用通知交付の後、佐藤学長から学生に対して、岩谷氏のご厚志を忘れず勉学に励むよう激励の言葉がありました。



学生を激励する佐藤学長

**平成24年度文部科学省
「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」
弘前大学シンポジウム「産業界のニーズと課題解決型学習の実践」開催**

本学では、平成24年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、第1回目となる弘前大学シンポジウム「産業界のニーズと課題解決型学習の実践」を1月30日（水）に開催しました。

今回のシンポジウムは、本学における課題解決型学習（PBL）の普及促進を図るとともに、企業と大学双方からの意見を通して、産業界のニーズに対応した人材育成のあり方について考え、今後の課題を明確にすることを目的として実施したものであります。

第1部では、佐藤学長の挨拶に続き、サンスターSA社 執行役員 白川英一氏を講師に、「サンスターグループが求める人材像」と題した基調講演が行われました。白川氏からは、同社の求めるグローバルな人材像として「チームワーク」「創造力」「自律性」といった側面から、その考え方や取組について様々な説明がありました。

続く第2部では、「取組事例報告」と題し、連携大学である小樽商科大学、岩手県立大学、山形大学から各大学で取り組んでいる課題解決型学習の取組の紹介、成果、活動の評価方法等の事例報告がありました。

当日は、教員や他大学関係者ら約100名の参加があり、企業の求める人材像や各大学の取組に興味深く耳を傾けていました。

■ 諸 会 議

▼ 役員会

1月7日（月）

審議事項

- 1 弘前大学大学院振興基金に関する規程の一部改正について
- 2 中期計画の変更について
- 3 学生募集要項（一般入試）の変更について
- 4 東京事務所の見直しについて

報告事項

- 1 東北 I L C 推進協議会について
- 2 アクティブメールへの不正アクセスによる障害について
- 3 平成24年度医学部附属病院の収支状況について
- 4 平成24年度内部監査の結果について
- 5 「第12回街づくり大賞」の受賞について

1月21日（月）

審議事項

- 1 学内諸規程の一部改正について
 - (1) 弘前大学人文学部規程の一部改正について
 - (2) 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程の一部改正について
 - (3) 弘前大学大学院振興基金に関する規程の一部改正について
- 2 学生募集要項（一般入試）の変更について
- 3 東京事務所の見直しについて
- 4 中期計画の変更について
- 5 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会の報告について
- 6 国立大学法人弘前大学教員の資格及び採用等の方法に関する規程の一部改正について
- 7 平成24年度組織評価に係る申立てについて
- 8 国際連携体制について
- 9 法人内部監査室の組織の見直しについて

報告事項

- 1 平成24年度補正予算について
- 2 平成26年度概算要求方針について
- 3 平成24年度弘前大学学術特別賞受賞者講演会の開催について
- 4 改正労働契約法への対応について
- 5 改正高年齢者雇用安定法への対応について

1月28日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会の報告について

▼ 教育研究評議会

1月8日（火）

審議事項

- 1 学内諸規程の一部改正について
 - (1) 弘前大学大学院振興基金に関する規程の一部改正について
 - (2) 弘前大学人文学部規程の一部改正について
 - (3) 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程の一部改正について
 - 2 中期計画の変更について
 - 3 学生募集要項（一般入試）の変更について
 - 4 東京事務所の見直しについて
-

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 2 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会の報告について
- 3 海外拠点について
- 4 平成24年度内部監査の結果について
- 5 教育推進機構会議報告
- 6 研究戦略企画会議報告
- 7 委員会等報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育委員会
 - (3) 入学試験委員会
 - (4) 研究委員会
- 8 アクティブメールへの不正アクセスによる障害について

▼教育委員会

1月23日（水）

審議事項

- 1 学生表彰について
- 2 弘前大学大学院振興基金に関する要項の一部改正について
- 3 弘前大学ボランティアセンターにおけるボランティア活動への参加について

報告事項

- 1 平成25年度入学者 弘前大学ゆめ応援プロジェクトについて
- 2 「学園だより」の発刊回数について
- 3 サークル棟の使用等について
- 4 学生相談を考える会について

▼研究委員会

1月22日（火）

報告事項

- 1 平成25年度弘前大学特別研究員の採択（継続・新規）について
- 2 平成24年度弘前大学学術特別賞受賞者講演会の開催について
- 3 東京事務所の見直しについて
- 4 地域共同研究センター運営委員会の報告について

新任教授紹介

【平成25年1月1日発令】



医学研究科
ナカムラ カズヒコ
中村 和彦
採用
前職: 浜松医科大学准教授

人事異動

【採用】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年1月1日		中村 和彦	教授(医) [34.12.31まで]
平成25年1月1日		山崎 祥平	助教(理工)
平成25年1月1日		森谷 慈宙	助教(農生)
平成25年1月1日		小野 久弥	助教(医) [29.12.31まで]
平成25年1月8日		伊藤 由佳梨	教諭(教育・附小) [25.02.18まで]

【任用更新】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年1月1日		佐々木 真吾	准教授(医) [27.12.31まで]
平成25年1月1日		堀内 大輔	助教(医) [27.12.31まで]

【命】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年1月1日	教授(医)	中村 和彦	弘前大学医学部附属病院神経科精神科科長

【休職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年1月4日	一般職員(病院・医事)	斎藤 めぐみ	期間更新 [25.07.03まで]
平成25年1月5日	看護師(病院・看護)	木村 美加子	期間更新 [25.01.06まで]
平成25年1月6日	課長補佐(学務・教務)	工藤 文弘	期間更新 [25.06.06まで]
平成25年1月7日	看護師(病院・看護)	木村 美加子	復職

【育児休業】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年1月1日	一般職員(保健)	小野 可奈子	復職
平成25年1月4日	看護師(病院・看護)	高屋 智宇	育休開始 [H26.03.31まで]

【離職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年1月31日	副看護師長(病院・看護)	森 正子	辞職
平成25年1月31日	看護師(病院・看護)	樽澤 恵子	辞職
平成25年1月31日	看護師(病院・看護)	佐藤 啓子	辞職

■ 主要日誌

- 1月7日 役員会
- 8日 教育研究評議会
- 19日 平成25年度大学入試センター試験
- 20日 平成25年度大学入試センター試験
- 21日 役員会
- 22日 研究委員会
- 23日 教育委員会
- 25日 プロテオグリカンフォーラム冬2012
- 28日 役員会
平成24年度岩谷元彰弘前大学育英基金採用者授与式
- 30日 「産業界のニーズと課題解決型学習の実践」

■ 学内規則等の制定等

(平成25年1月30日改正)

○国立大学法人弘前大学職員退職手当規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①退職給付における官民格差の解消を図るための国家公務員退職手当法の改正が行われたことに鑑み、国に準じ所要の改正を行う。
- ②国において、年齢別構成の適正化等を目的とした早期退職募集制度を導入すること、また、定年前早期退職者に対する退職日俸給月額割増の制度を見直すことに伴い、本学においても同様の規定を整備するとともに、制度の施行においても国と同時期に施行できるよう、所要の改正を行う。
- ③職員から引き続いて役員となる場合において、当該役員を退職後、将来再び職員へ戻る予定が無くとも、職員の在職期間を役員の在職期間に通算できるよう、規定の整備を行う。併せて、役員から引き続いて職員となる場合においても、当該職員を退職後、将来再び役員へ戻る予定が無くとも、役員の在職期間を職員の在職期間に通算できるよう、規定の整備を行う。

(平成25年1月30日改正)

○国立大学法人弘前大学役員退職手当規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①役員から引き続いて職員となる場合においても、当該職員を退職後、将来再び役員へ戻る予定が無くとも、役員の在職期間を職員の在職期間に通算できるよう、規定の整備を行う。
- ②職員から引き続いて役員となる場合において、当該役員を退職後、将来再び職員へ戻る予定が無くとも、職員の在職期間を役員の在職期間に通算できるよう、規定の整備を行う。

弘前大学学報第106号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111